



お知らせ

資料提供先	県政記者クラブ 県政記者会 県政滝町記者クラブ
-------	-------------------------------

橋梁の損傷状況を現地で確認します！

あらいせきかわばし
～新井関川橋の現地確認状況を公開～

国土交通省山口河川国道事務所では、橋梁等の重要な道路構造物について、損傷等を把握するために定期的な点検を実施し、修繕計画を策定して、必要に応じて補修を行っています。

この度、新井関川橋において国土交通省職員及び自治体職員による橋梁点検を実施します。

構造物の維持管理の重要性を御理解いただくため、現地における「点検」を報道機関の皆様にご公開します。

■実施内容

○実施日時 : 平成25年1月28日(月) 13:10～14:40(予定)

○実施概要 : 別紙-1のとおり

○実施場所 : 山口市阿知須地先 (国道190号 新井関川橋)

○集合場所 : 新井関川橋西側 (距離標5.6K付近)

フィッカル阿知須横駐車場

○点検方法 : 梯子等による近接目視

※この取り組みは、『Hozen3,000』(中国技術事務所)の一環となります。

■問合せ先

[橋梁点検]

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長(管理)

まつむら まもる
松村 守

【担当】道路管理第二課長

やまだ しんご
山田 晋吾

【広報担当】計画課長

ふじわら いさお
藤原 功

電話(0835)22-1785(代表)

[Hozen3,000]

国土交通省 中国地方整備局 中国技術事務所

【担当】防災・技術課 技術情報管理官

ひの よしひろ
樋野 義周

電話(082)822-2340

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

あらいせきかわばし
新井関川橋における現地確認の実施概要について

1. 主 旨

橋梁の多くは高度成長期（1955～1973年）に建設され、今後、橋梁の老朽化が一斉に進むことから、修繕・架け替え等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。（2030年には、建設後50年以上となる橋梁が全体の約70%を占めます。）

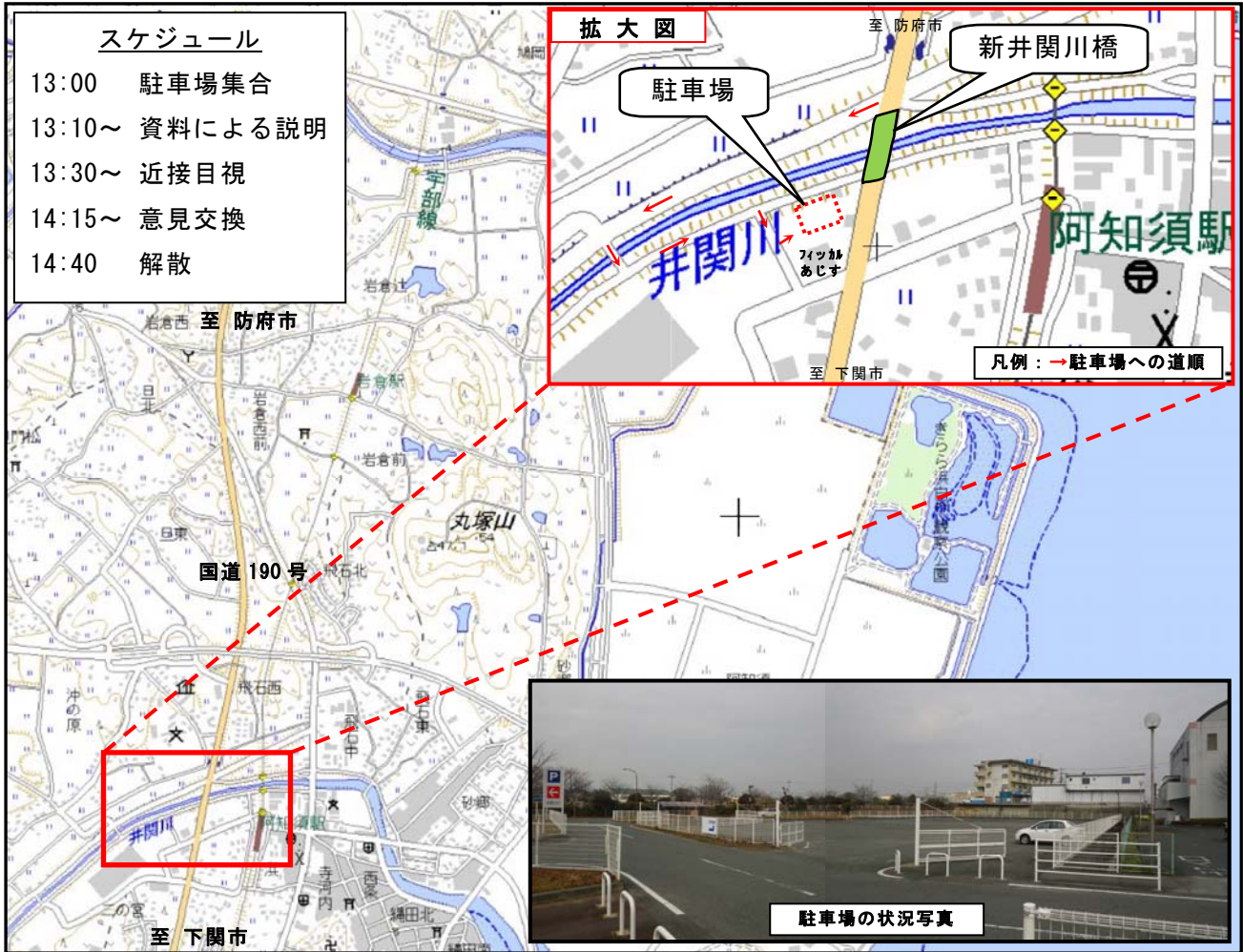
山口河川国道事務所では、約800橋の橋梁を管理しており、損傷の進行性や新たな損傷の発生状況の把握に努めております。

今回、橋梁の損傷状況について現地で確認し、その対応方針について検討することとしています。

橋梁の現状と対策の必要性を御理解いただくことが重要であるため、この現地確認を報道機関の皆様にご公開実施することとしたのでお知らせします。

- | | |
|---------|--|
| 2. 実施日時 | 平成25年1月28日(月) 13:10～14:40(予定) |
| 3. 実施場所 | <small>やまぐちしあじす</small> 山口市阿知須地先 国道190号 <small>あらいせきかわばし</small> 新井関川橋 |
| 4. 集合場所 | <small>あらいせきかわばし</small> 新井関川橋西側 フィッカル阿知須横駐車場（次頁参照） |
| 5. 実施方法 | 梯子等による近接目視を行います。
橋梁点検調書を用いて損傷箇所を確認し、対応方針について関係者で確認します。 |

6. 集合場所および実施詳細



7. 対象橋梁の概要

橋 梁 名 : あらいせきかわばし
新井関川橋

位 置 : 一般国道 190 号(距離標 5.4k64m～5.5k16m付近) やまぐちしあじす
山口市阿知須

建設年次 : 1975 年(建設後 37 年経過)

橋 長 : 52.0m

形 式 : 単純鋼桁橋+単純 PC プレテン T 桁橋



中国技術事務所の

『Hozen3, 000』

～ 「点検・診断から始まる3,000橋保全ミッション」 ～



- ・品質確保のための調査・試験
- ・構造物耐久性向上に関する検討

品質確保



- ・橋梁点検、評価支援
- ・保全技術支援

点検・診断



技術開発

- ・現場ニーズの調査
- ・新規研究テーマの創出
- ・新技術(NETIS)登録管理
- ・構造物延命化の技術開発・支援
- ・点検車両操作等、点検支援



新設橋梁
設計・施工

既設橋梁
補修・補強

- ★点検・診断結果、補修補強工事結果の蓄積
- ★新設橋梁の長寿命化へもフィードバック